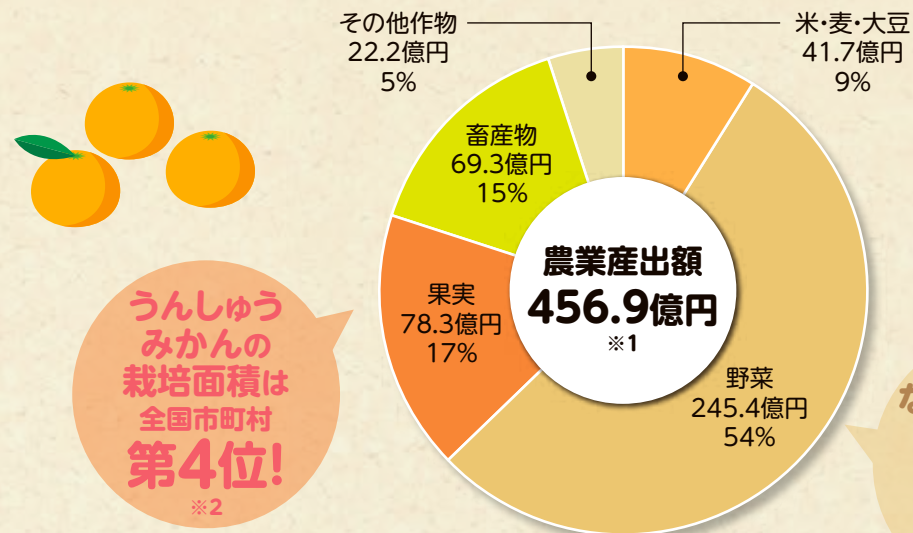


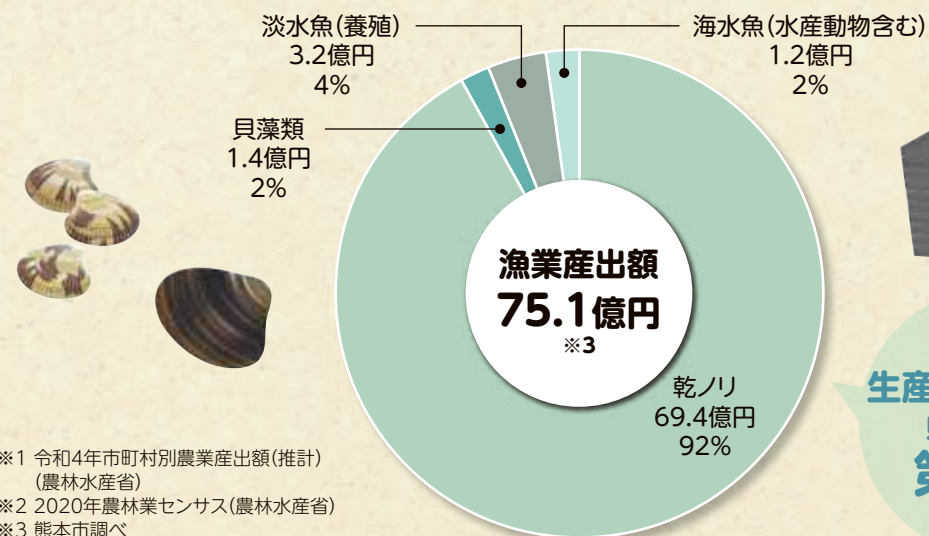
熊本市の農業産出額の構成(2022年(令和4年))



熊本市の農業産出額(令和4年産)は
全国市町村
第11位!
政令指定都市
第3位!
※1

なす、すいかの作付面積は
全国市町村
第1位!
※2

熊本市の漁業産出額の構成(2022年(令和4年))



ノリの生産量・産出額は
県内市町村
第1位!
※4

※1 令和4年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)
※2 2020年農林業センサス(農林水産省)
※3 熊本市調べ
※4 熊本県漁業協同組合連合会ノリ共販実績

- 全国屈指の園芸産地で、農業産出額の7割以上が野菜と果実で占められています。
- 県内有数の畜産地帯でもあり、乳用牛や肉用牛、豚、鶏、馬などが飼養されています。
- ノリ養殖業が盛んに営まれており、県内ノリ生産量・産出額の約7割が熊本市産です。

熊本市の農水産業・農水産物をもっと知りたい方はこちら!

〈熊本市ホームページ〉

市内の直売所情報



〈熊本市役所・農水局SNS〉

Facebook



市の農水産業統計情報



Instagram



熊本市の Agriculture & Fishery 農業と水産業

清らかな地下水をはじめとする豊かな自然環境に恵まれた熊本市では、各地の特性に応じて多様な農水産業が営まれており、生産された農水産物は全国各地に出荷されています。

農水産業は食料を生産するだけでなく、地域経済の中で重要な役割を担うとともに、国土の保全や水源のかん養、良好な景観の形成などに代表される「多面的機能」を有しており、私たちの豊かな生活を支えています。

このパンフレットは、多くの方々に熊本市が誇る農業と水産業について理解を深めていただくために作成しました。様々な場面で、広くご活用いただければ幸いです。

熊本市の農水産物紹介MAP

※このマップは主要な産地や特徴的な産地を中心にイメージ化したものです。

北区

全国的に有名なすいかの産地です。各地の特性を活かしながら、すいか、メロン、なす、ハウスみかん、花きなどの施設園芸作物、うんしゅうみかんなどの果実、米などの多様な品目が生産されています。また、養豚などの畜産業も盛んに営まれています。



東区・中央区

畜産物や米・麦・大豆、すいか、ピーマン、トマト、花きなど、さまざまな農産物が生産されています。特に、小山・戸島地区では酪農をはじめとする畜産業が盛んです。また、供合・秋津・面図地区ではほ場整備が進んでおり、米・麦・大豆などが大規模に生産されています。



西区

金峰山一帯でうんしゅうみかんをはじめとする果実が盛んに生産されています。平野部では施設園芸が営まれるほか、水田の裏作としてキャベツやたまねぎなどが露地で大規模に生産されています。また、高砂地区ではビニールハウスを利用して、早出しのれんこんも生産されています。



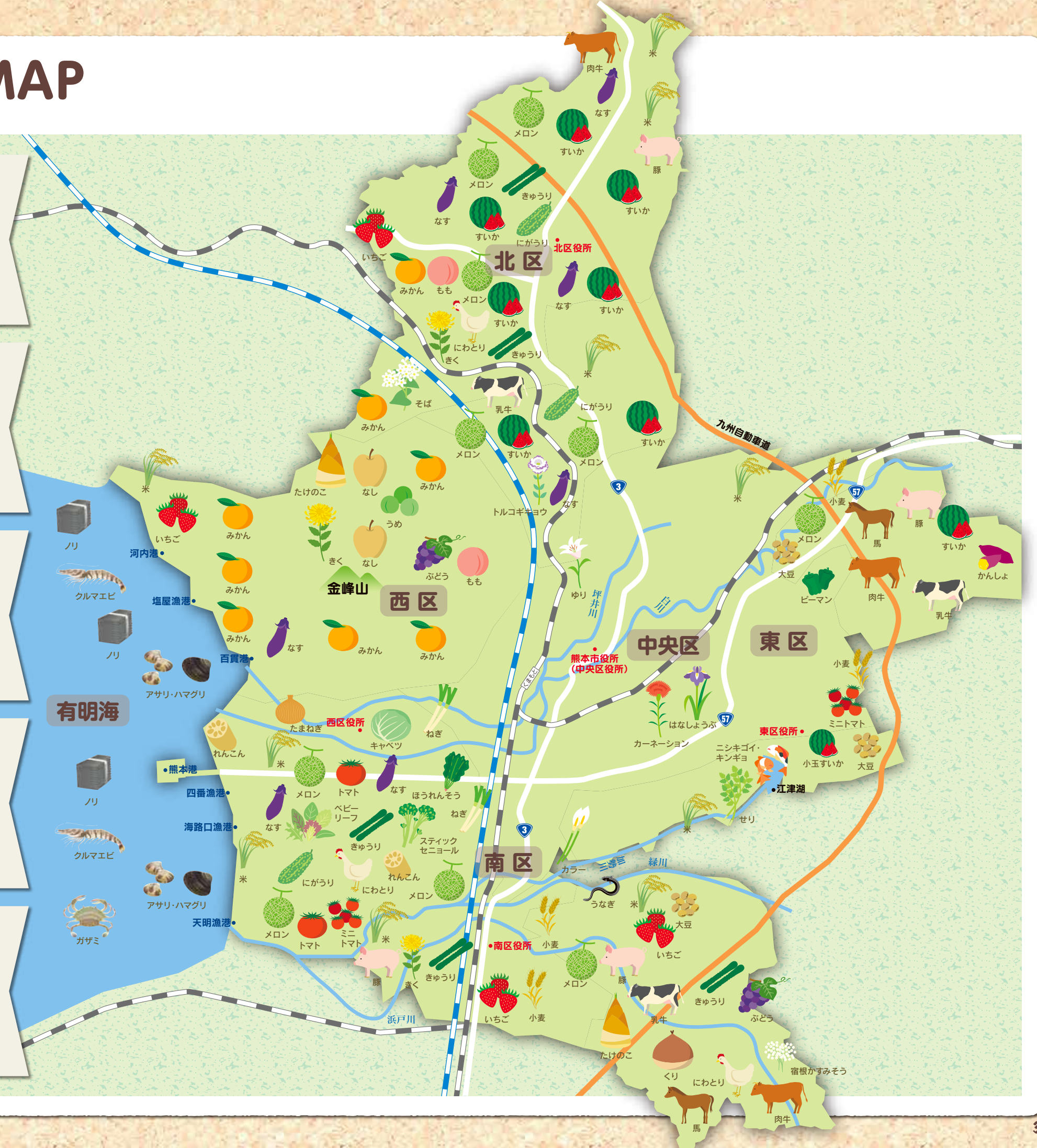
南区

なす、トマト、メロンなどを生産する施設園芸が盛んな地域です。その中でも、飽田・天明地区は全国屈指のなすの大産地です。また、富合・城南地区では、ほ場整備の進んだ広大な水田を活かして、米・麦・大豆などの土地利用型作物が生産されています。



有明海

熊本市の海岸線の長さは約22km、海域は沖合約10kmに及びます。干満差の大きい有明海特有の広大な干潟漁場、沖合漁場では、ノリ養殖が盛んに営まれ、アサリ、ハマグリ、クルマエビなどが漁獲されています。



熊本市の農水産物紹介

なす

全国有数の大産地で、全国市町村で第1位の作付面積※1と第2位の産出額※2を誇ります。主にビニールハウス等の施設内で栽培され、先進的な選果施設が整備されていることから、高品質のなすを安定的に供給できる産地として高い評価を受けています。主力品種は長なすの「PC筑陽」で、つやのある黒紫色が美しく、交配作業の必要がないことから省力性にも優れています。また、実の長さが60cm以上にもなる「大長なす」なども生産されています。



※1 2020年農林業センサス(農林水産省)
※2 令和4年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)

すいか

全国市町村で第1位の作付面積※1・産出額※2を誇ります。熊本のすいかの出荷時期は早く、2月下旬頃から出荷が始まり、ゴールデンウィークの頃に最盛期を迎えます。昼と夜の温度差が大きい環境下で大切に育てられた熊本のすいかは、抜群の甘さとシャリとした食感が特徴です。

※1 2020年農林業センサス(農林水産省)
※2 令和4年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)



トマト

ビニールハウスなどの施設で栽培され、真夏の一時期を除いてほぼ周年出荷されています。ビタミンCやビタミンEに加えて、赤色の色素成分で抗酸化作用があるリコピンなど、栄養素が豊富に含まれています。



メロン

網目模様のネットが美しく、高級果実の代表格である「アールスメロン」、大衆メロンとして親しまれている「アンデスメロン」、果肉が朱色系の「クインシーメロン」など、多種多様なメロンが生産されています。



れんこん

一般的な露地栽培に加えて、ビニールハウスを利用した栽培も行われており、5月下旬頃から早出しのれんこんが出荷されています。



米・麦・大豆

効率的な生産のために広い農地が必要となる土地利用型の作物で、ほ場整備事業が実施された地区を中心に生産の大規模化が進められています。



ピーマン

大ぶりで肉厚な品種の「エスピーマン」が主に生産されています。ビタミンCやカロテンが豊富な緑黄色野菜です。



キャベツ

水田の裏作として盛んに生産されています。巻きが緩やかな「春(春系)キャベツ」と、しっかり締まった「冬(冬系)キャベツ」に分類されます。



うんしゅうみかん

熊本市西方の金峰山一帯に産地が広がっています。収穫作業は9月中旬から始まり、11月をピークとして年末まで続きます。色づきが良くおいしいみかんを作るため、園地に白色のシートを敷いて日光を反射させつつ土壌の水分量を調節するなど、さまざまな工夫がなされています。また、夏場には施設で栽培される「ハウスみかん」が出荷され、爽やかな香りと甘い果汁で人気を博しています。



中晩柑類(デコポン等)

中晩柑とは、主に1月以降に収穫される、うんしゅうみかん以外の柑橘類の総称で、熊本市では「不知火」や「肥の豊」などが盛んに生産されています。これらの品種等は、へたの辺りが盛り上がって「デコ」になることが特徴で、「デコポン」として広く親しまれています。なお、「デコポン」の名称は商標登録されており(権利者:熊本県果実農業協同組合連合会)、厳しい検査に合格したものだけに使用されています。



いちご

ビニールハウスなどの施設で栽培され、11月中旬から5月にわたり長期出荷されています。県の育成品種である「ゆうべに」が主に生産されています。



なし

7月下旬から10月中旬にかけて、「幸水」、「豊水」、「あきづき」、「新高」などの品種が時期に応じて出荷されています。



花き

多彩な種類の花きが生産されており、主にきく、宿根かすみそう、トルコギキョウ、カラーなどの生産が盛んです。



きく



宿根かすみそう



トルコギキョウ

畜産物

主に小山・戸島・城南・植木地区で、乳用牛、肉用牛、豚、鶏、馬などが飼養されており、県内有数の産地となっています。



乳用牛



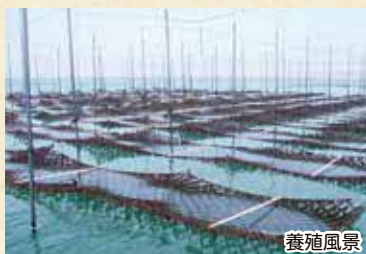
肉用牛



豚

ノリ

10月から翌年3月までの間、有明海特有の干満差を活かした支柱漁場と沖合に広がる浮き流し漁場において、ノリ養殖業が営まれています。熊本のノリは、歯切れの良さと口の中で溶けるような食感をあわせもつ香り高い逸品です。



養殖風景



収穫風景



熊本市の農水産物の主な販売時期

